

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 20 日 更新

事務事業名		菊池地域農協農業振興事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	6	産業の健康				所属部	産業振興部	課長名	塚本 健洋	
	施 策	26	農業の振興				所属課	農政課	担当者名	高来 登	
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化				所属班	農政班	(内線)	5222	
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 10256	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池地域農協の各分会、組織ごとの活動に対して、生産技術の向上や環境の美化に努め、消費者に安全・安心な農産物を提供し、人と環境に優しい農業の実践を図るための組織活動支援事業である。菊池地域農協の各分会の事業活動運営費の助成をし、組織の強化を図り、地域農業の発展と収入の増加を促し、経営の安定を図る。
【業務の流れ】	補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、概算金支払い事務、及び確定事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
補助金交付申請受付、審査、交付決定、概算金支払い及び確定通知事務		JA菊池合志中央支所、西合志中央支所からの事業申請受付から補助金確定までの一連事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 助成件数	件	菊池地域農業振興補助金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内菊池地域農協支所部会		→ ア 合志・西合志支所部会数
		→ イ 部会
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
各分会で計画する事業活動の費用負担を軽減させる。		→ ア 部会活動の割合
		→ イ 負担率(軽減の割合)
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
部会の活動状況の把握と、市の助成の効果の程度を知るため。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込	
① 活動指標		ア 件 イ	2 -----	2 -----	2 -----	2 -----	2 -----	2 -----	2 -----	2 -----	
② 対象指標		ア 部会 イ	11 -----	10 -----	10 -----	9 -----	9 -----	9 -----	9 -----	9 -----	
③ 成果指標		ア % イ %	100 4.86	100 2.09	100 4	100 25	100 4	100 4	100 4	100 4	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	1,949	1,430	1,599	1,596	1,519	1,519	1,519	1,519
	(A) 事業費計	千円	1,949	1,430	1,599	1,596	1,519	1,519	1,519	1,519	
		(A)のうち指定経費	千円	0	20	19	16	19	19	19	19
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	20	19	16	19	19	19	19
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	3	3	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	252	315	90	305	90	90	90	90
		(B)人件費計	千円	0	1,246	358	1,202	358	358	358	358
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,949	2,676	1,957	2,798	1,877	1,877	1,877	1,877	

事務事業名	菊池地域農協農業振興事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 農業を取り巻く環境が厳しくはなっているが、農業者は意気軒昂にて様々な活動に取り組んでいるため。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 JA各支部の活動が充実し、安定した収入が得られ農家の経営が安定する。また、情報の共有化が図られた。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 余地なし
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金一連事務のため正職員以外は対応できない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 農業全般に反映するため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の基幹産業である農業に携わる人達への支援は、行政が行う事業として妥当であるため

3 評価結果の総括（CHECK）

各支部農業者は研修等を通じ、様々な農業技術や知識を習得することが出来た。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策